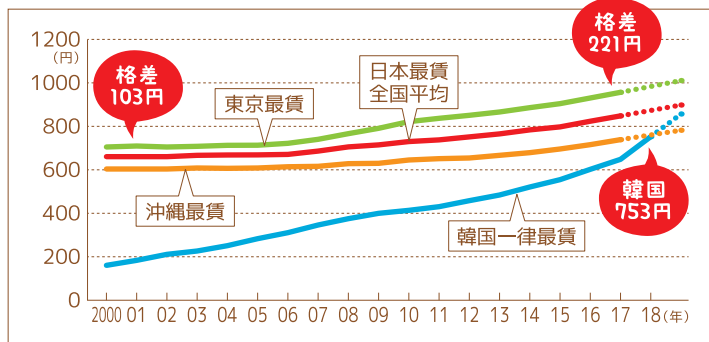


## 先進国で最も低い日本の最低賃金

## 〈日給の地域格差〉



2018年韓国一律最賃7530ウォン。1ウォン=0.0009日本円で換算（2018年4月11日）

日本では長い間、主婦パートや学生アルバイトの「こづかい稼ぎ」が最低賃金の対象とみなされてきましたが、いまや全労働者に占める非正規の割合は4割。家計の中心にしながら最低賃金ギリギリで働く労働者が増えています。これでは生活できません。ただちに、先進国並みの最低賃金にするべきです。

東京 958円×8時間=7664円  
 沖縄 737円×8時間=5896円

その差  
**1768円**

沖縄で最低賃金が1500円になったら、**日給は6104円UP!**  
 映画、ランチ、ショッピングもできて、貯金もできる!

さらに!

おかし!

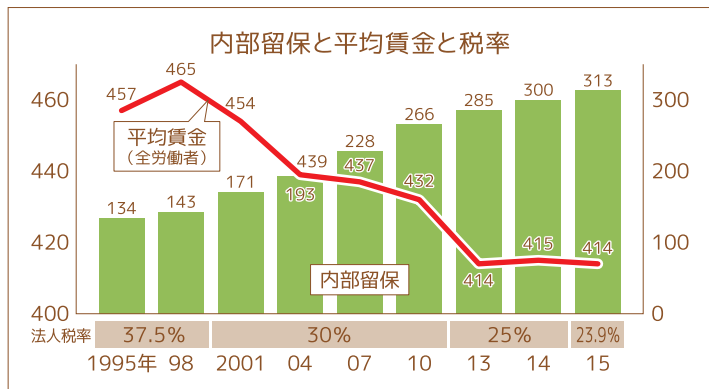
最低賃金は全国一律に

東京都の最低賃金は全国で最も高く、一番低い沖縄県とは221円もの格差があります。これは若い労働力の流出など地方の疲弊の要因になっています。

例えば、東京と沖縄。同じ手順・品質で作った商品の値段は同じなのに、賃金が違うのは不合理で不公平です。

## 低賃金労働者や中小・零細企業にもっと税金を使うべきだ!

アベノミクスでは、大企業が儲かれば、その「おこぼれ」が中小・零細企業や正規や非正規労働者など末端まで届くと言われました。ところが、労働者の平均賃金は1998年465万円から2015年414万円へと51万円も下がり、大企業（資本金10億円以上）の内部留保は143兆円から313兆円へと約2.2倍になり



資料：財務省「企業統計調査」「労働統計調査」

ました。大企業や大株主だけが儲かり、国民生活が犠牲になっています。地域経済を活性化するためには、労働者の賃上げ不可欠です。大企業優先の経済政策を改め、中小・零細企業の安定と社会保障のために税金を投入すべきです。

貧困率 **15.6%**

2015年の日本の相対的貧困率は15.6%、6人に1人が貧困です。一人親家庭の貧困率は深刻で、50.8%でした。働いても生活が楽にならない賃金しか得られない社会に希望はありません。

おかし! 時給が低くて食事もガマン!?



新潟で731円でバイトしていました。生活苦しくてアルバイト先で昼飯抜きの生活をしていました。社長から「ダイエットしてるの?」と言われたとき「この時給が少ないからです!」と心で叫んだ。(新潟・男性)

## 労働組合で賃金を上げよう! 残業をなくそう!

世界的に見ても異常な長時間労働。過労死やメンタルヘルスの原因でもあります。あなたの職場では、残業代は支払われていますか? 残業代の支払いは、雇用者に課せられた義務であり、守らない場合は罰せられます。働くルールが守られない場合、労働組合で変えることができます。

フツに働いて、フツに暮らせる賃金に!

時給をあげれば、あなたの生活が大きく変わる

●フルタイムで1年間働く場合  
**1500円×1800時間=270万円(額面)**

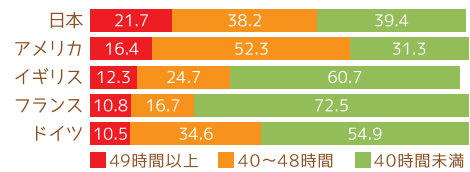
※1日8時間で1年間(225日)働く場合



労働組合はあなたの味方!

1日8時間を越えた労働に対して、法律で企業は時給25%割増で賃金を支払わなくてはなりません。法律を守らないブラック企業には、労働組合に入って対抗することが有効です。

長時間労働者の構成比(週当たりの労働時間)



政府広報オンラインより

## 1日8時間労働は世界のながれ

8時間労働の原則は、労働者が「仕事に8時間を、休息に8時間を、やりたいことに8時間を」と声をあげて勝ち取ったルールです。労働者の命と健康を守るルールとして、世界では「守って当たり前」ですが、日本政府や日本企業は「企業の利益を最優先」に、このルールを壊そうとしています。賃金をあげて長時間労働をなくして、必要な仕事には雇用も増やして、安心して暮らせる社会こそ、いま多くの労働者が求めていることです。

